

翔通信 no6

平成 29 年 10 月 3 日
泉第 2 チェリーこども園

朝夕はかなり冷え込むようになり、すっかり季節が秋へ移り変わっていることが感じられるようになりました。それでも先日の運動会の日、晴れの少なかった今年の夏を取り返すかのような照り付ける日差しに、競技をする子どもたちも、応援する保護者の方も、職員も、いつも以上に熱が入っていたように思います。そのせいでしょうか、いつも以上に子どもたちの表情と取り組む姿が生き生きとしており、運動を心から楽しむ“運動会”にすることができたように思います。

運動会やその他行事について当日の園長挨拶でも触れましたが、大切なことは“喜びを共有すること”にあると思います。子どもだけが楽しむだけであれば保護者参加行事にする必要はないですし、大人だけが喜ぶ内容で子どもが楽しめないものでは本末転倒です。そういう意味では運動会は子どもの喜びと大人の喜びの間に若干のジレンマも存在します。そのジレンマの中、競技を構想し、教育、保育として子どもたちに提案する担任をはじめとした保育教諭の工夫と準備は並々ならぬ苦勞があります。たった半日で終了してしまう運動会ですが、その裏に保育教諭の専門家としての組み立てが存在することも心の片隅に留めおいていただければ幸いです。

また、当日お手伝いいただいた保護者の方のみならず、日ごろから多くの方のご理解とご協力があった、当園の運営や運動会などの行事は成り立っております。

この場を借りて感謝申し上げます。

園長 工藤 俊平

トピック

○再度お知らせ！月ごとの予定表は園のホームページに掲載しております。

○写真購入方法としてインターネット販売を始めます。

○第 3 回目の“マルシェ in こども園開催！

一般社団法人 S.C.FILED が当園を会場に“おやこフェス”を開催！

○保護者会イベントをマルシェ in こども園と同時開催！

○教育新聞より「“子どもは市民”核にまちづくり。」

○ハッ！とさせられる詩紹介。

再度お知らせ！月ごとの予定表は園のホームページに掲載しております。

前回8月の翔通信からその月の予定表は園のホームページに掲載させていただいております。翔通信のおたよりがお手元になくても予定を確認できるようにしておりますのでご利用ください。

また、翔通信もクラス掲示、ホームページ掲示をしながら今後、メール配信での配布に切り替えてまいります。掲示、配布方法の変更に伴ってご不便をおかけいたしますが、ご理解くださいますようお願い申し上げます。

写真購入方法としてインターネット販売始めます。

現在、園行事などの写真購入方法は、一定期間園に掲示した写真から番号を選択していただき、現金でお支払い・・・園のレターケースでの商品お届け、という方法をとってありましたが、インターネットでの販売に移行してまいります。

株式会社ハッピースマイル「みんなのおもいで.COM」とうシステムを利用した販売となりますが、詳細は別途お知らせいたします。

これまで行事等で写真を撮影していただいていた”一光堂”さんにもご了承いただいておりますので、園に出入りするカメラマンさんは今まで通りです！

インターネット販売開始は“3歳以上児の親子遠足”、続いて“3歳未満児の園外保育”を予定しております。

10月21日（土）マルシェ in こども園開催！

11月3日（土）おやこフェス開催！

10月、11月はマルシェとフェスが続けて開催されますが、両者は似て非なるもの！マルシェ in こども園は3回目を迎える当園主催の子育て支援イベント。地域の子育て力向上を狙った地域の地域による地域のためのマルシェです。

一方おやこフェスは一般社団法人 SC.FILED が当園を会場にして主催し、おやこコミュニケーション、子育ての悩み解消、コミュニティづくりなどを狙ったフェスで、ゆくゆくは沿岸部の津波被害エリアや県外開催も視野に入れております。

似て非なるものですが、ねらいの根幹である“子育て支援”という意味では共通しております。どちらのイベントもどなたでも入場し楽しめるイベントとなっておりますので、是非お立ち寄りください！

保護者会イベントを“マルシェ in こども園”と同時開催

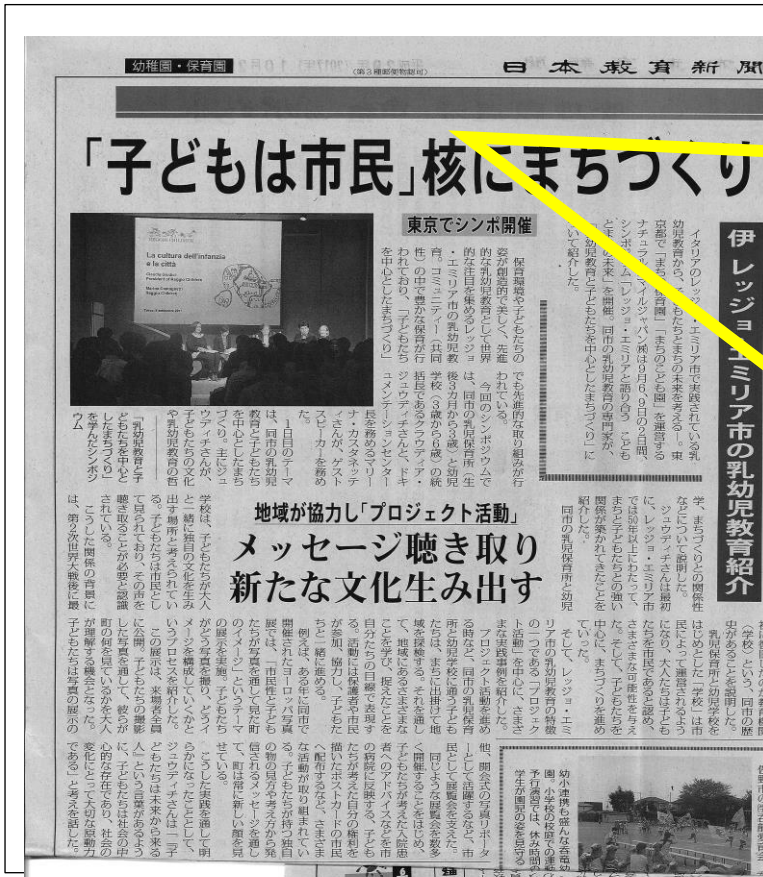
保護者会行事として今年度は”マルシェ in こども園”と同じ日に親子で楽しめる催しを計画しているようです。保護者会イベントに参加してマルシェも楽しめる！10月21日（土）は親子で二度楽しい日になりそうです。

詳細は保護者会からのお知らせをご確認ください。

イタリアのレッジョエメリアの教育モデルは世界的に有名で、日本の幼稚園や保育園でもそのモデルから学び、実践している施設も少なくありません。この記事では「乳幼児教育と子どもたちを中心としたまちづくり」についてシンポジウムが開催され議論されたことが記事となっております。「活動には保護者や市民が参加、協力し、子どもたちと一緒に進める・・・」とあります。お気づきでしょうか。当園で実施しているマルシェなども似た発想に基づいて実践されているのです。

規模は比較にはなりませんし、中身の成熟度も全く比較にはなりません（レッジョは50年の歴史があります）子どもが中心の地域（まち）、地域で子育てをしているという意識、子どもの視点（これはまだマルシェにないかも・・・）

世界に遅れること50年！仙台市もそんな都市にして行きたいですね！



四カ月頃になると
母と子は恋人同士
お母さんを見つめる赤ちゃんの目
お赤ちゃんを見つめるお母さんの目
あてられっぱなし

一歳頃になると
赤ちゃんはその行動力で
お母さんの“追っかけ”
どこでも行くよ トイレの中までも

二歳頃になると
いっぱいの子ども
お母さんなしではいられないくせに
お母さんにとっかかったり、やりたい放題
ここでエネルギーをためて

三歳頃になるとロケット噴射
親離れ良好
高度よし、方向よし

心に響く、そしてハッとさせられる詩をご紹介します。

巷野悟郎 著書
「赤ちゃんが書かせてくれた～小児科医からママへの手紙～」より